

杉永木履の事業は、官憲の一堅迫りたるため、今年
及幹親無自覚の一致を以て、金費を収むることを
一顧せしむる。創立後八月九日の金費を収むるは、
有る無定の現状である。

活動

爭議 木履製造同業組合は四月六日總會を召集、昨年
震災以後木履の需要激増した為の職工の賃銀一割
値上げした。是の後東部の復旧と共に事業周旋に
おける理由より六月十日より工賃（一足十八元）を一
割値下げすることに決定し、是の旨各工場より夫々
その職工に通告した。此の職工は、賃下げを不當
なりとし、日本労働總同盟の支援を求め、金正米吉氏
外二名を推し、遂に十一日午前、一子名の松下幹
製造職工は一方に罷業するに至つた。職工側は
代表者二十四名を送出して之を代表丸山氏に面
會し、工賃値下げの取消し及び今般工賃を煮更